

「創刊 12 号 ほぼ月間太っ腹新聞」 ～キムタクにさようならの巻～

読売センター代田橋梅丘 所長 柴田秀昭

皆さん、こんにちは。ゴールデンウィークも終わり、再び普段の日々。ところで GW どこかお出かけになりました？自慢じゃないけど我が家は「どここにも行ってましえ～ん！」。理由はただひとつ経済的理由。テレビのニュースで混雑する観光地を見ては「どこも混んでるねえ～」と、にやり独り言。やっぱ、家が一番でしょと勝手に家族 4 人(正確に言うと大人 2 人のみ)で納得顔。連休にお出かけの皆さん、今日あたりはけっこうお疲れモードでしょ。ワタシはメッチャ元気ですハッハッハ(かなり負け惜しみ)。

それはともかく、あれから早一ヶ月。そう、巨人木村コーチの死去。確か、グラウンドでノック中に倒れたのが 4/2。その日、夕方のテレビのニュースに映った衝撃映像。ノックバットを手に突然倒れこむキムタクコーチ。傍らで叫んでいたのは鶴岡捕手。脱兎のごとく駆け寄った小笠原選手。取り囲むナインの間から見える心臓マッサージの様子からは、何が起こったか理解できずも、ただならぬことだけはよく理解できたのです。それから 5 日後、木村拓也コーチは天国へ……悲しみと驚きと無念さと……

その週末、東京ドームでの中日戦。場内に献花台が用意されていると聞き、花を持って行って来ました、息子と 2 人で。近所の花屋さんで 5 千円(いきなりお金のハナシ?)の花束を用意したら、これが予想以上に立派な花束。一ファンとしてはいささか大げさ?と思ったのですが、いざドームに着いてみると献花台はもちろん、その周囲にも数多くの立派な花束。ワタシの花束はごくごく平均でした。まあ、花束の大きさを計るものではないのですが、いかに多くのファンが彼を愛していた証です。また当日は告別式の日でもありました。家に帰り、悲しみにくれる御家族を映像で見るとまた悲しくなりました。せめて、せめて残された御家族に幸多かれと祈るのみです。

4/24 には追悼試合が行われ、息子さんが始球式をされていました。これから、彼はお父さんの偉大さを年令とともに感じて生きていくはずです。いつかまた、ドームに帰ってきてね、巨人の背番号ゼロとして……試合は親友谷選手代打逆転満塁アーチで巨人が快勝。天国に行っても巨人に力を与えてくれてます、いいぞ木村コーチ!

死去から一ヶ月、この紙面で木村コーチ死去の話題に触れることに正直ためらいがありました。何しろ普段から「お気楽、テキトー、脳天気」がこの太っ腹新聞のモットー。そこに人の死のニュースはあまりにも不釣り合い。でも、ワタシが感じた気持ちを正直にお伝えすることが、何より大切なことではないかと思ったわけです。自分も含めて、死とは誰も避けては通れないもの。でも、家族に愛され、仲間にも愛されることで、ずっと生き続けられるのです。その人の心の中で……さようならキムタク、合掌。

さて話題を変えて今月のプレゼント。今回は下記 3 点をひとつにまとめてプレゼント!

○ ポケモン下敷き

(今、人気のことわざ大百科 PR 用の下敷きです)

○ ポケモンカッティングボード

(カッティングボードとはカンタンに言うと簡易まな板です。キャンプやアウトドアはもちろん、運動会や行楽地で果物なんか切るのにベンリです。)

○ 田中将大&坂本勇人クリアファイル

(マー君と坂本選手は何と小中学校の同級生。その 2 人の写真をひとつのクリアファイルに!)

応募方法はいつものとおりです。先着 180 名さま限りです。181 番目の方ごめんなさい。

電話 3429-3965(月～土夜9時、日・祭屋 12 時まで)

ファクス 3439-3409

メール info@yc-shibata.co.jp

お届けは 5/10 以降できるだけ早くお届けします。それでは、また来月お会いしましょう！